

新しい研修のカタチ

いま、長崎県ではたくさんの“新しい研修のカタチ”が生まれている。今年4月から始まった長崎大学病院の院外での外来研修もその一つ。これは大学病院でありながら高度先進医療だけでなく、地域のプラリマリケアも経験できるという特色をもつ。さらに来年度からは、長崎県の17病院と新・鳴滝塾（長崎県医師臨床研修協議会）が連携し、最大3病院で研修が可能なトライアングルコースが開設されるなど、その研修環境はさらに充実しつつある。また長崎大学病院以外にも、県内の臨床研修病院は「研修医にとって必要なことは何か」を常に考え、これまで研修プログラムの充実を図ってきた。規模こそ大きくないものの、それぞれの地域性を活かした研修内容で定評のある病院が各地にある。

今回は長崎大学病院の院外での外来研修および、長崎県の五島列島にある上五島病院を取り材し、それぞれ研修医としてここで学べること、学ぶべきことは何かを聞いてきた。

長崎大学病院 進化し続ける研修プログラム p.10-11

長崎県上五島病院 地域で研修医を育てる p.12

★長崎県で理想の初期研修をみつける！

新・鳴滝塾

- 長崎県にある17の研修病院への見学・実習のコーディネート
- 病院見学・実習のための旅費をサポート

長崎県17の臨床研修病院への見学・実習のお申し込みは新・鳴滝塾を利用するのがおススメ。新・鳴滝塾では一度に複数の病院をみたい場合や見学ルートの日程、見学内容の相談ができる。遠方から見学に行く場合、申請を行えば旅費のサポートを受けることも可能だ。

[新・鳴滝塾 事務局]

E-mail : info@narutaki-jyuku.jp
TEL : 095-865-8351
FAX : 095-819-7882



新・鳴滝塾は医学生の病院見学時のフォロー以外にも、17病院合同説明会や県内外での広報活動も積極的に行っている。(写真は合同説明会のようす)

見学申し込みの流れ

見学する病院を決めて、ホームページのエントリーフォームから申し込み。
複数病院の希望でもOK！



病院担当者から連絡がきます。見学の日程や診療科などの細かい調整はここで。旅費の助成が可能かどうか確認！

※予算の都合により助成の対象にならない場合があります

さあ見学に行こう！

※助成の対象になった場合、病院見学時に渡される書類に記入する必要があります



見学後、新・鳴滝塾事務局の審査を経て、助成金が給付されます



新しい研修のカタチ①

長崎大学病院 進化し続ける研修プログラム

長崎大学病院ではより一層のプライマリケア教育の充実を図るため、今年4月から院外での外来研修をスタート。長崎本土から100km離れた上五島病院での外来研修をレポートし、研修内容の魅力に迫った。

■長崎大学病院 外来研修レポート



ヘリポートに集合（7:50）

指導医の枠田智子先生と研修医1年目の清原龍士先生。JR長崎駅近くのヘリポートから30分かけて現地へ。



上五島病院に到着

上五島は人口約22,000人。午前は清原先生一人で初診を行い、午後は枠田先生の外来を見学する。



外来開始

外来開始。緊張↑↑。問診のようすは枠田先生も後方で確認している。患者さんは魚骨をつまらせた女性。



長崎本土へ戻る（16:00）



患者さんの対応を考える

枠田先生とともに対応・治療方針を決める。今日は5人の患者さんを診た。

長崎大学病院の研修が、“かなりいい”理由

長崎県の大きな特徴に、県内全ての臨床研修病院と長崎大学病院の計17病院が連携して研修医の育成にあたっているということが挙げられる。長崎大学病院が今年4月から始めた県内4施設での外来研修もその一例だ。

上五島病院での外来研修を指導する長崎大学病院医療教育開発センター教官（内科医）の枠田智子先生は、地域医療を学ぶ意味を次のように話す。

「この研修の目的は上五島という

フィールドを生かして、研修医が一人で紹介状を持たない患者さんをゼロから対応するという機会を与えることです。あらゆる基礎疾患や訴えの患者さんに対応することに迫られるので、研修医にとっては貴重な経験となり、度胸も実力もつくと思います」

また、長崎大学病院は来年度より、県内の臨床研修病院と連携して「長崎県初期研修トライアングルコース（右ページ参照）」という自由に研修プロ

グラムが組める、新しい研修のカタチを用意している。

今回紹介したのは長崎大学病院の魅力のほんの一部。他にも大学病院ならではの層の厚い指導体制や、1次から3次まで学べる救急教育、充実した学習環境など特徴を挙げれば切りがない。プライマリケア能力も磨ける大学病院。この研修内容をぜひ自分の目と体で確かめてほしい。自分でも想定していなかった選択肢が現れるはずだ。

新・鳴滝塾-長崎大学病院連携 トライアングルコース

新・鳴滝塾
NAGASAKI 17 HOSPITAL

長崎県 初期研修 トライアングルコース 始まる。限定5名募集！

自由に
研修プログラムが
組める！

長崎県
17病院
のいいとこどり！

アメニティ
サポート！

トライアングルコース 長崎

検索

募集対象者

2012年にマッチング登録する方 ※応募多数の場合は、採用試験結果にて選考いたします。

お問い合わせ先

長崎大学病院 医療教育開発センター TEL: 095-819-7874 MAIL: kaihatsu@ml.nagasaki-u.ac.jp

新しい研修のカタチ②



長崎県上五島病院 地域で研修医を育てる

上五島病院は、地域の人々や多くの医療機関・福祉施設などと連携しながら住民の健康を支えている。

地域密着型ともいえる同病院だからこそ、医師の本質を学べる環境がある。

■院長 Interview

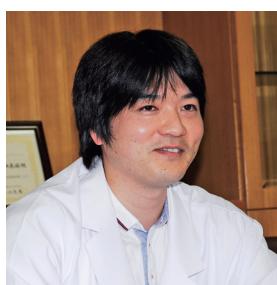


八坂貴宏先生

地域医療のコーディネーターに

初期研修の2年間は、研修制度の基本理念にあるように、医師としての態度や総合判断能力を含む基本的臨床能力を身に付けることが大切です。また当院のような保健医療や福祉関係の連携が必要となってくる場合、医師が中心的な役割を果たさなければなりませんし、チーム医療でも同じことがいえます。上五島は地域、患者さんがとても優しい土地柄で、医師一患者関係を密接につなげることができるので、このような力を身に付ける場としては最高の地域特性といえます。病院スタッフ、地域が同じ意識で研修医の教育に当たるのも、当院の強みです。

■内科指導医 Interview 本田徹郎先生



医者としての目線をもつ

内科の指導医として、いつも「技術屋」になってはいけないと言います。いまの医療は専門科が細分化されて、それぞれの領域での診療が中心となっています。ただ病気は一つではないし、疾患が複数重なっている患者さんもたくさん来ます。「この前は肺炎を治したのに、今度は脳梗塞？」、こういう患者さんに対して複合的に診療できることが大切で、医者は自分の領域だけ治せばいいわけではありません。当院の研修では科に分けて考えるのではなく、「人を診る」というスタイルをまず教えます。医者としての成長が期待できるはずです。

■研修医 1年目 Interview 丸山淳也先生

地域住民の手で育てられる

まだ薬を一つ使うにも正しい投与量が分からず、勉強が足りないなと思う日々を過ごしています。この病院は地域性もありますが、背景の複雑な患者さんが多く、治療して終わりではなく、治療後、家に帰ってからのことまで考えなければなりません。五島の患者さんは人柄が良く、技術的にも未熟な研修医に対して厚い配慮をみせてくれます。そういう患者さんの態度が、自分を一層成長させてくれるのだと実感しています。



入院患者さんを回診中

研修プログラム

上五島病院の研修はたすきがけ方式のプログラム。1年次が上五島病院、2年次が長崎医療センタードで研修する。少数精鋭の指導で、研修医の希望を反映した自由度の高いプログラムも魅力。

上五島とは

五島列島は九州最西端約140の島々から成り、上五島は北東の島々にあたる。上五島の人口は約22,000人。美しい海と海岸線があり、独特の歴史・文化、温かな人間性あふれる島である。病院見学の際に、ぜひ歴史・文化にもふれてほしい。

マッチング情報

上五島病院を含め、長崎県17の臨床研修病院のマッチングに関する情報は、新・鳴瀧塾のホームページをご覧ください。

新鳴瀧塾

検索